洪水

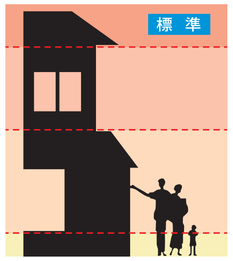
本田小学校区 ‖ 瑞穂市ハザードマップ

このマップは1000年に一度程度の最大規模の降雨によって各河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域とその浸水深を表示しています。浸水の深さは各河川の洪水浸水想定区域図（想定最大規模）を全て重ね合わせ、浸水深の一番大きい値を採用しています。

校区	施設名称	指定緊急避難場所	指定避難所	備蓄倉庫	所在地
本田	本田小学校校舎・体育館	○	○	○	本田938
	穂積北中学校校舎・体育館	○	○	○	本田2000
	本田第1保育所		○		本田1915
	本田第2保育所		○		只越387
	ほづみ幼稚園		○		只越500
	本田コミュニティセンター	○	○		本田977-1
	サン・プラスパ		民間		只越1061

※本田小学校区以外の避難場所に関しては、「瑞穂市防災読本」のp57、p58をご覧ください。
※建物の形状、想定される浸水深等から洪水時においては、避難所として利用できない可能性があります。

浸水深の色の見方



浸水深の凡例

家屋倒壊危険区域	家屋倒壊危険区域（洪水氾濫）	木造家屋は、河川堤防の決壊等に伴う氾濫流により倒壊のおそれがあるため立ち退き避難
	家屋倒壊危険区域（河岸浸食）	（木造・非木造の）家屋は、河岸浸食により、倒壊のおそれがあるため立ち退き避難
想定される浸水深	5m以上	3階建ては立ち退き避難
	3m以上～5m未満	2階建ては立ち退き避難
	0.5m以上～3m未満	1階建ては立ち退き避難
	0.5m未満	床下浸水

緊急輸送道路

- 第一次緊急輸送道路
- 第二次緊急輸送道路

防災関係施設

指定避難所

災害で自宅が被害にあった者又は現に被害を受ける恐れのある者を一時的に保護するため開設し、宿泊や給食等の生活機能を確保する施設。

指定緊急避難場所

災害による危険が切迫した状況において、生命の安全の確保を目的とし、緊急に避難する施設等。

両方の機能を有している施設 / 避難所機能のみの施設 / 福祉避難所

- 総合センターは、物資の受入保管場所、ボランティアセンターとして使用します。
- 牛牧北部防災コミュニティーセンター、水防センターは防災施設として使用するほか、一部避難場所として利用します。

水位計 / 河川カメラ / 排 排水機場

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号　平30情使、第1565号）